小平市民活動支援センター あすぴあ の1年
2010年4月～2011年3月

4月

センターオープン！

4月2日、小平市民活動支援センターが開設しました。たくさんの方が集まった交流スペースで、指定管理者のNPO法人小平市民活動ネットワーク理事長、小平市長、小平市議会議長のテープカットが行われ、センターの幕開けとなりました。

引き続き会議室で開かれたイベントでは、相模女子大学教授の松下啓一さんによるワークショップが行われ、センターのこれからの可能性について、参加者から様々な声があがりました。

第1回学習会
「センターを活用しよう！」

5月

第1回市民活動交流サロン「センターについて」

5月22日、センター会議室にて、第1回目の交流会が開かれました。「センターでこんなイベントがしたい」「こうしたらどうか」…センターを利用した方の意見を交え、この場所にある可能性や、目指していきたいことなどを語り合いました。

6月

第2回市民活動交流サロン「夢の商店街～アートが紡ぐ商店街のぬくもり」

6月20日、第2回交流サロンが開かれました。
3月に一橋学園商店街で開催されたイベント「学園坂ストリートギャラリー」での取り組みが、武蔵野美術大学の学生さんにより紹介され、イベントに関わったおだまき工房、商店主の方からの報告の後、参加者も加わってのにぎやかな意見交換が行われました。

7月

ドリンクコーナー完成

交流スペースの図書ラックの中に、インスタントドリンクとポットを設置しました。安く気軽にお茶が飲める、好評のコーナーです。

8月

NPOフェスタ準備

武蔵野美術大学の学生さんが、フェスタの看板とプログラム作りに協力してくださいました。
交流スペースで、大きな看板がオレンジ色に塗り替えられました。

1月 第3回学習会「地域情報紙が消えていく」
2月 第4回学習会「これからの街づくり 歩車共存を考える」
第4回市民活動交流サロン「市民活動と補助金」
1月、2月のイベント報告は4面へ

9月

第3回市民活動交流サロン「NPO法人交流会」

9月4日に開かれた交流会では、市内のNPO法人と、法人格をとる予定の12団体が、シーズ（市民活動を支える制度を作る会）のプログラムディレクター、関口宏聡さんが話す「NPO法人最新事情について」に耳を傾けました。その後、各団体の悩みについて関口さんに答えていただきました。

10月

センターの愛称が あすぴあ に決まる

公募の結果、札幌市の朝倉修さんの作品が選ばれました。

第2回学習会「趣味もボランティアも よくばり人生の作り方」

10月2日の学習会では「そろそろリタイア後の人生設計を、とお考えの方」を対象に、東宝現代劇役者の内山恵司さんによるお話と朗読実演のほか、うたごえ、音訳、クラシック音楽、日本語ボランティアと、音に関係する市民活動団体が活動内容の発表を行い、その後みんなで名刺カードを使って自己紹介をしながら歓談しました。

NPOフェスタ in 元気村 2010 同時開催 元気村ひろば 2010

10月24日、毎年恒例となったお祭り「NPOフェスタ」が開かれました。市民活動の見本市としてさまざまな活動の展示や発表が行われ、また市民の交流の場としても、にぎわいました。

ハロウィンパレード

展示風景

マジックショー

3月

第5回学習会 「小平流『ご近所の底力』」 （3月26日）

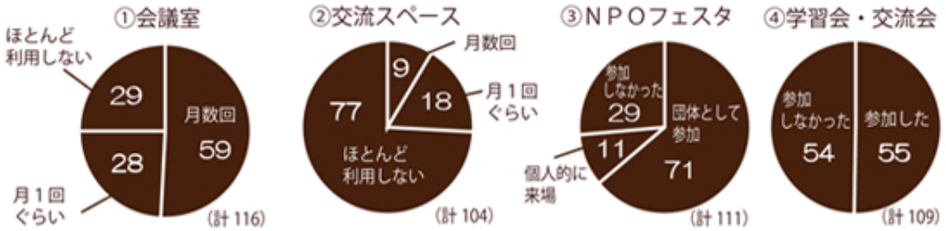
日高昭夫 山梨学院大学教授に基調講演をお願いしていましたが、東北関東大震災の関連で同氏が出席できなくなり、小平団地自治会 副代表幹事 林美奈子さんから事例報告を受けるのみとなりました。しかし、当日は30余名の出席を得て、自治会活動のあり方について議論が盛り上がりました。

小平団地自治会の場合特徴的なことは、順番に指名し毎年交代するような役員は設けず、自治会運営に熱意を持つ役員が長期にわたって関わっていく体制をとっていること、ほぼ毎週情報紙を発行し全住民に配布して意思疎通を図っていること等で、これらはこれからの自治会活動にとって大きなヒントになると感じられました。

あすぴあ

利用者アンケートから・・
実施期間：2011.1.4～2.20
回答数：117人

Q. あすぴあを利用したことがありますか？



あすぴあ 利用者の声

会議室について

場所取りが大変なので、いつも使わせていただきありがとうございます。
電話やパソコンで申し込みができるようになればいい。
申し込み時、施設に行くことが大変。

交流スペースについて

お茶などの用意もされ、オープンな雰囲気。自由に出入りできて、飲物が安い。
作業に利用させてもらった。囲いのあるコーナーは小さなミーティングにはもってこい。

窓口対応について

活動の相談、予約等とても親切に対応していただきました。
メンバーがとてもまとまっている。心強い。

その他

センター気付で団体宛の郵便物を受け取れるようにしてほしい。
元気村は地理的に不便。にじバスの通り道になれば行きやすくなるが…
センターの運営は、昔の「お役所」的にならないようお願いしたい。